



高温によりハダニ類の多発が心配されます。8月下旬も発生が続く場合は、「アカリタッチ乳剤」を定期散布に加用して下さい（注意事項参照）。また、枝葉が繁茂している場合は夏季管理を行い薬液が下枝まで到達するようにしてください。病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を心がけましょう。

共通①：【中生種軟化防止対策】：液状カルシウム「カルタス」の1,000～1,200倍を定期散布に加用する。

共通②：隣接園（特に、今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意する。

共通③：散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないようにする。

【第12回】りんご 8月末～9月初旬の薬剤散布（定期）：前回より15日以内

散布時期： 8月29日～9月2日 *秋雨期の予防散布

散布日： 月 日

散布量： ㍓

散布薬剤： 水	100㍓	
展着剤	10ml	【代替】ササラ2,000倍
アリエッティC水和剤	125g	（前日、3回）
ダントツ水溶剤	50g	（前日、3回）

対象病害虫：輪紋病、炭そ病、すす点・すす斑病、褐斑病、斑点落葉病、黒星病
シンクイムシ類、カメムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、
コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ

散布量：10アール当り 600㍓

【注意事項】

① 【ハダニ類対策】：アカリタッチ乳剤1,000倍（前日、-）を加用する。

*アカリタッチを加用する場合の混用順：展着剤⇒アカリタッチ⇒アリエッティC⇒ダントツ

参考：今後の栽培管理

- ストップール液剤は収穫開始予定の15～25日前に1回散布が基本です。また、極度の土壌乾燥下では効果は低減します。
- ストップール液剤は単用散布で展着剤を加用しない。また、薬害防止のため他品目には飛散しないように注意してください。

品種名	落果防止	収穫開始予想	備考
千秋	9月初旬 ストップール液剤1,000倍	9/20～	果肉先行注意。
秋映	9/10～15頃 ストップール液剤1,000倍	10/1～	着色先行型。熟度重視の収穫徹底。
ジョナゴールド	9/10～15頃 ストップール液剤1,000倍	10/5～	果肉先行注意。
紅玉	9/5～10頃 ストップール液剤1,000倍	9/28～	早期酸抜け注意。
シナノゴールド	9/20～30頃 ストップール液剤1,000倍	10/15～	平年落果の少ない園地の散布は不要。

次ページもご覧ください。

➡ シナノスイートの芯カビ果の除去

- ◆ 時期：8月下旬～9/15頃 *本格的な着色が始まる前に実施ください
- ◆ 特徴：①異常に地色が抜けた果実 ②早期着色果
- ◆ 収穫開始予想：10/5頃（南部） 10/10頃（北部）

➡ 半無袋（ワックス袋）ふじの除袋について

- ◆ 時期：9/15～20頃
- ◆ 注意点：極端な高温が続く場合は、上記日程より遅らせる。

➡ りんご着色資材の使用例

- 対象：シナノスイート・ふじ等
- 下記資材は全て定期散布に混用可能です。選択により使用してください。

商品名	使用目的	倍率	使用時期	単価/規格	農薬混用
彩色甘味 (おすすめ!)	着色促進 糖度向上	1,000	9月上旬～10月初旬 (収穫予定40日前と20日前の2回散布が効果的)	3,015円/500g	可
モーニングエース	着色促進 品質向上	500	9月上旬～10月初旬 (収穫予定30日前と15日前の2回散布が効果的)	4,400円/500g	可
メリット赤	着色促進 樹勢調節	300	9月上旬～10月初旬 (収穫予定2カ月前から3回散布が効果的)	8,380円/6kg	可
ビビッドレッド	着色促進 品質向上	500	9月上旬～10月初旬 (収穫予定30日前と15日前の2回散布が効果的)	1,485円/1.2kg	可
葉友	着色促進 花芽充実	2,000	9月上旬～10月初旬 (収穫予定2カ月前から3回散布が効果的)	4,290円/1リットル	可

◆ 使用例

- ① 彩色甘味：9月上旬・下旬の2回散布 ⇒ シナノスイート等対象
- ② 彩色甘味：9月下旬・10月初旬の2回散布 ⇒ ふじ対象
- ③ モーニングエース：9月中旬・10月初旬（反射マルチ敷き前）に500倍で2回散布 ⇒ ふじ対象
- ④ メリット赤：9月上旬・中旬・下旬に300倍で3回散布 ⇒ ふじ・シナノスイート等対象
- ⑤ 葉友：9月上旬・中旬・下旬に2,000倍で3回散布 ⇒ ふじ・シナノスイート等対象

果樹特報 No10 発行予定：9/1

- ◆ 9月下旬の散布